

高砂の
明日を
つくる

ビジョンがある街



2020年4月5日は高砂市長選挙投票日

高砂の明日をつくる会は「明日をつくる3つのビジョン」を掲げます。



1 2期8年で課題を解決
明るい高砂をつくる



2 教育・福祉の予算を増やし
住みたい高砂をつくる



3 市民病院・商業施設・駅前を再生
活気ある高砂をつくる

- 市長の任期は最長でも2期8年で。期限を区切って市政課題に取り組むべきです。
- 密室政治をなくしましょう。誰でも参加できる「市長と語る会」を復活しましょう。

- 学力テストの点数を向上させましょう。教員や学校職員を市独自で増員を図るべきです。
- 無料の福祉バスを市内くまなく走らせて、病院や商業施設に気軽に行ける市民の足に。

- 経営悪化の市民病院を改革しましょう。副管理者の派遣、施設への投資が必要です。
- JR曾根駅、山陽電車高砂駅など駅前の活性化に取り組みましょう。

高砂の明日をつくる会推薦の
市長候補に、あなたの1票を!



<http://asutsukuru.info/>

高砂の明日をつくる会 検索

さらに詳しく「高砂の明日をつくる会 政策集」に掲載しています。



経営悪化の市民病院を改革。 副管理者を派遣、施設に投資します。

築後30年が経過し、規模が大きすぎて老朽化した高砂市民病院を、市の税金を使って投資することで「コンパクトで使いやすい病院」に変えていきます。その上で600床以上の加古川中央市民病院と役割を分担します。これを機会に無料個室を原則として市民が使いやすい入院施設にします。これらの市民病院改革のために、管理者を補佐する副管理者を派遣します。



病院や商業施設を回る 無料の福祉バスを走らせます。

路線バスとしてのじょうとんバスは黒字路線を中心に絞り込みます。一方で、病院や商業施設行きの無料の福祉バスは市内くまなく走らせます。路線バスと移動支援を分ければ、同じ程度の予算で今よりもはるかに使い易い交通体系となります。ボランティアの地域支え合い・移行サービス事業も拡大します。

●写真左：高砂市民病院。通常の7億円の支援に加えて、年間5億円前後の赤字となっています。この赤字を減らせば、教育・福祉の充実や商業施設・駅前の再生といった分野にお金を回すことができます。

●写真右：大阪市鶴見区で導入されている福祉バス。路線バスと移動支援を分ければ同じ程度の予算で今よりもはるかに使い易い交通体系となります。特に北浜・阿弥陀地区の交通弱者対策を強化します。

「高砂の明日をつくる会・政策集」は 好評配布中です。

2月22日に会の政策集(A4・12ページ)が完成しました。明日をつくる3つのビジョンをより進化・深化させたものになっています。HPにも掲載中です。ぜひご覧ください。(ご希望の方は事務所まで)



<http://asutsukuru.info/>

高砂の明日をつくる会

私たちも、高砂の明日をつくる会推薦の市長候補を応援しています。



市長候補の人柄と情熱に惚れ込んでいます。皆さん一緒に頑張ってくださいませ。

岡本緑さん(高砂市連合婦人会副会長)

何事にも前向きで行動力のある人です。一緒に地域を盛り上げていきたいです。

茂渡俊慶さん(鶴林寺住職)



公立病院の改革に取り組む活動に敬意を表します。私も全力で協力します。

日野高睦さん(日野整形外科医師)



学生時代には弱いチームでも捕手として支え、明るく元気に仲間を励まし続けた。今の高砂市に必要な人材です。

東田俊弘さん(淳心学院中高等学校元副校長、高砂市剣道連盟副会長)

高砂の明日をつくる会 大集会

とき：4月3日(金)夜7時～

場所：伊保小学校体育館(予定)

選挙期間中で一番大きな
節目の大集会です。

ぜひみなさんお越しください。

「高砂の明日をつくる会」 兵庫県高砂市伊保1丁目1650-2/079-446-1050(代)/change202004@gmail.com

※このビラは確認団体ビラと呼ばれるものです。選挙期間中に配布が許されていますが、候補者の氏名、顔写真が掲載できません。政策などを詳しくお知りになりたい方はウェブなどをご覧ください。

2020年4月5日は高砂市長選挙投票日